

国立民族学博物館研究報告 vol.4-4; 表紙, 目次ほか

雑誌名	国立民族学博物館研究報告
巻	4
号	4
発行年	1980-03-25
URL	http://hdl.handle.net/10502/00009255

1979・12 4_卷4_号

国立民族学博物館 研究報告

●
色彩の認知と分類

——東アフリカの牧畜民 **Bodi** 族—— 福井勝義

復活祭をめぐる儀礼の過程の変形と意味

——メソ・アメリカの民俗的想像力との出会い—— 黒田悦子

家元制度——その形成をめぐる—— 守屋 毅

「文明化」についての試論(上)

——ノルベルト・エリアス『文明化の過程』に寄せて—— 野村雅一

現代和服の変貌——その設計と着装技術の方向に関して—— 大丸 弘

国立民族学博物館所蔵の曲物細工について—— 中村俊亀智

The Crisis in Dryland Pastoral Economies:

An Essay in Applied Human Ecology—— Kenneth RIDDLE



国立民族学博物館

〒565 大阪府 吹田市 千里 万国博記念公園 TEL. 06-876-2151

国立民族学博物館研究報告

4 卷 4 号

1979年12月

目 次

色彩の認知と分類 ——東アフリカの牧畜民 Bodi 族——	福井 勝義	557
復活祭をめぐる儀礼の過程の変形と意味 ——メソ・アメリカの民俗的想像力との出会い——	黒田 悦子	666
家元制度——その形成をめぐって——	守屋 毅	709
「文明化」についての試論（上） ——ノルベルト・エリアス『文明化の過程』に寄せて——	野村 雅一	738
現代和服の変貌——その設計と着装技術の方向に関して——	大丸 弘	770
国立民族学博物館所蔵の曲物細工について	中村俊亀智	798
The Crisis in Dryland Pastoral Economies: An Essay in Applied Human Ecology	Kenneth Ruddle	821
集 報		847
国立民族学博物館研究報告 4 卷総目次		849
国立民族学博物館研究報告寄稿要項		850
国立民族学博物館研究報告執筆要領		851

BULLETIN OF THE NATIONAL MUSEUM OF ETHNOLOGY

Vol. 4 No. 4

December 1979

FUKUI, Katsuyoshi	Color Concepts and the Classification of Colors among the Bodi Pastoralists of Southwest Ethiopia 557
KURODA, Etsuko	The Transformation in the Ritual Process of Holy Week: An Encounter with Folk Imagination in Mesoamerica 666
MORIYA, Takeshi	The Formation of the <i>Iyemoto</i> System 709
NOMURA, Masaichi	Civilization as a specifically European Concept (1) 738
DAIMARU, Hiroshi	La metamorphose du Kimono et la signification du style d'aujourd'hui 770
NAKAMURA, Takao	Notes on <i>Magemono</i> -Work in Japan 798
RUDDLE, Kenneth	The Crisis in Dryland Pastoral Economies: An Essay in Applied Human Ecology 821

彙報 (昭和54年7月～昭和54年9月)

人事異動

(行政職) (併任)

8月16日 文部省大臣官房情報処理課 吉見賢一(技術室電子計算機係)

(教育職) (復職)

7月17日 中山和芳

館外各種委員会

7月1日付け発令

海外における研究・調査・収集活動

氏名	官職	出発	帰国	行先
小谷 凱宣	助教授(第1研究部)	54. 7. 1	54. 8. 9	アメリカ合衆国, カナダ
吉本 忍	助手(第2研究部)	54. 7. 1	54. 9. 30	インドネシア共和国
櫻井 哲男	助手(第5研究部)	54. 7. 1	54. 9. 20	インドネシア共和国
杉本 尚次	教授(第4研究部)	54. 7. 10	54. 9. 30	オーストラリア, パプア・ニューギニア
黒田 悦子	助教授(第4研究部)	54. 7. 15	54. 10. 12	アメリカ合衆国
山本 紀夫	助手(第3研究部)	54. 7. 25	54. 11. 15	メキシコ, ガテマラ, コロンビア, エクアドル, ペルー, ボリビア, ブラジル
小山 修三	助教授(第4研究部)	54. 8. 7	54. 11. 3	オーストラリア
中牧 弘允	助手(第1研究部)	54. 8. 16	54. 9. 30	アメリカ合衆国, ドミニカ, ハイチ, ジャマイカ
小川 了	助手(第3研究部)	54. 8. 20	56. 2. 19	セネガル, フランス
梅棹 忠夫	館長	54. 9. 7	54. 9. 20	カナダ
江口 一久	助教授(第3研究部)	54. 9. 17	54. 11. 5	モロッコ, アルジェリア, チュニジア
和田 祐一	教授(第3研究部)	54. 9. 21	54. 11. 20	オランダ

来館者抄

7月3日 D. Yondon (モンゴル人民共和国第一外務次官)
16日 丹野 郁(埼玉大学教授)

企画委員

五十嵐道子, 大貫良夫, 加藤秀俊, 川添登, 黒川紀章, 小松左京, 高田 宏, 田邊員人, 多比良稔, 中山和彦, 栗津 潔, 勝井三雄, 後藤和彦
9月1日付け発令
石坪 羌

合同研究会

7月4日 「インド古代の祭式研究について」
井狩 彌介

崔 龍 基 (韓国大学教授)

江守 五夫 (千葉大学教授)

27日 キプコリル (ケニア・ナイロビ
大学)

8月21日 Phan Huy Thông (ベトナム対
外文化連絡委員会)

23日 李 瑄 根 (韓国精神文化研究

院長)

李 鍾 武 (同 資料室長)

柳 在 九 (同 運営課長)

李 啓 善 (同 施設課長)

9月6日 Abdellatif Ben Abdeljlil

(モロッコ国モハメド

五世大学総長)

国立民族学博物館研究報告 4巻 総目次

4巻1号

松山 利夫：明治初期の飛騨地方における堅果類の採集と農耕……………	1
杉田 繁治：民族学研究における情報処理——コンピュータ民族学について—— ……	24
川瀬 豊子：Haxāmanis-朝初期における小家畜管理 ……	43
杉本 尚次：九州山地の民家——椎葉・米良地域を中心に—— ……	79
伊藤 幹治：沖縄本島北部農村の「門中」とその論理——沖縄の民俗宗教ノート(3)—— ……	117
中村俊亀智：国立民族学博物館所蔵の東南アジア島嶼部採集のカゴ細工について……………	130

4巻2号

石森 秀三：サタワル島の数占い——その基本体系について—— ……	157
須藤 健一：カヌーをめぐる社会関係 ——ミクロネシア，サタワル島の社会人類学的調査報告—— ……	251
秋道 智彌：明治初期・飛騨地方における生産魚類の分布論的研究……………	285
中村俊亀智：国立民族学博物館所蔵の巻きカゴ細工，とくに国内資料について……………	340
小川 了：西アフリカ収集調査行から……………	358

4巻3号

大胡 修：島根半島一漁村における漁撈活動……………	379
加藤 九祚：モンゴル人民共和国の伝統的物質文化 ——ビャトキナ著『モンゴル人民共和国のモンゴル人』から—— ……	404
坪郷 英彦：国立民族学博物館所蔵の第一次東南アジア稲作調査団採集の カゴ細工について……………	469
杉本 尚次：ヨーロッパの民俗学・民族学博物館——1978年夏の訪問記録から—— ……	493
和田 正平：国立民族学博物館西アフリカ学術調査概報……………	525

4巻4号

福井 勝義：色彩の認知と分類 ——東アフリカの牧畜民 Bodi 族—— ……	557
黒田 悦子：復活祭をめぐる儀礼の過程の変形と意味 ——メソ・アメリカの民俗的想像力との出会い——……………	666
守屋 毅：家元制度——その形成をめぐって—— ……	709
野村 雅一：「文明化」についての試論(上) ——ノルベルト・エリアス『文明化の過程』に寄せて—— ……	738
大丸 弘：現代和服の変貌——その設計と着装技術の方向に関して——……………	770
中村俊亀智：国立民族学博物館所蔵の曲物細工について……………	798
Kenneth RIDDLE: The Crisis in Dryland Pastoral Economies: An Essay in Applied Human Ecology ……	821

国立民族学博物館研究報告寄稿要項

1. 国立民族学博物館研究報告は、民族学（文化人類学）に関する論文、資料・研究ノート、調査研究活動報告等を掲載・発表することにより、民族学（文化人類学）の発展に寄与するものである。
2. 国立民族学博物館研究報告に寄稿することができる者は、次のとおりとする。
 - (1) 国立民族学博物館（以下「本館」という。）の教官（客員教授等を含む。）及び本館の組織、運営に関与する者
 - (2) 本館が受け入れた各種研究員及び研究協力者
 - (3) その他本館において適当と認めたる者
3. 原稿を寄稿する場合は、論文、資料・研究ノート、調査研究活動報告等のうち、いずれであるかをその表紙に明記するものとする。なお、この区分についての最終的な調整は、国立民族学博物館研究報告編集委員会（以下「編集委員会」という。）において行う。（編集する場合は、原則として論文及び資料・研究ノートを1段組、その他のものを2段組として取り扱う。）
4. 原稿執筆における使用言語は、日本語、英語、フランス語、スペイン語、ロシア語、中国語及びドイツ語のうちいずれを用いても差し支えない。ただし、その他の言語を用いる場合は、編集委員会に相談するものとする。
5. 特殊な文字、記号、印刷方法等が必要な場合は、編集委員会に相談するものとする。
6. 寄稿する原稿が論文で、日本語を使用する場合は、原則として英文により500語程度の要旨を付けるものとし、その他の言語による論文の場合は、編集委員会に相談するものとする。なお、寄稿する原稿については、執筆者名のローマ字表記及び原稿表題の英文を付記しなければならない。
7. 寄稿する原稿の枚数は、原則として制限しない。ただし、編集する場合は編集委員会の判断により、紙数等の関係から分割して掲載することがある。
8. 寄稿する原稿は、必ず清書（欧文の場合はタイプ）し、原稿の写し1部を添付するものとする。なお、図、表のスマ入れ、レタリングは、編集委員会で処理する。
9. 寄稿された原稿は、審査委員会において審査のうえ、採否を決定する。なお、原稿は、採否にかかわらず原則として返却しない。
10. 稿料の支払い、掲載料の徴収は行わない。
11. 原稿の執筆に当たっては、別に定める「国立民族学博物館研究報告執筆要領」による。
12. 原稿の寄稿先及び連絡先は、次のとおりとする。

〒565 大阪府吹田市千里 万国博記念公園
国立民族学博物館内
国立民族学博物館研究報告編集委員会（電話 代表 06-876-2151）

国立民族学博物館研究報告執筆要領

1. 原稿は、200字詰原稿用紙を使用し、横書きとする。
2. 原稿は、図、表を除き、原則として黒インクを使用する。
3. 日本語を使用して執筆する場合は、原則として当用漢字、現代かなづかいを用いる。
4. 句読点、括弧、各種記号等は、原則として原稿用紙のマス目1字分の扱いをする。
5. 原稿中の年号、月日及びその他の数字は、原則としてアラビア数字を用いる。なお、年号は、原則として西暦とする。
6. 図及び表は、一図、一表ごとに別紙に書き、本文とは別に一括して添付するものとする。なお、図、表ごとに通し番号（「図1」、「表1」等の要領により記入）、図、表名及び説明並びに出典等を記し、本文原稿の欄外には、それぞれのそう入箇所を指定するものとする。
7. 写真は、写りの明瞭なもので、手札判以上の大きさに焼き付けたものに限り、図及び表の扱いに準じて通し番号、説明を付けたうえ、そう入箇所を指定するものとする。ただし、カラー写真は、原則として受け付けない。
8. 本文又は脚注において文献を指示する場合は、カギ括弧を付け、著者名、文献刊行年次、引用ページ数の順に下記の例に従って記載する。

[柳田 1942: 67-69]

[Leach 1961: 123]

[柳田 1942: 67-69, 1944: 20-22; Leach 1961: 123]

ただし、同年次刊行物の場合は、アルファベット順により、下記のように記載するものとする。

[柳田 1942a: 20-22] [柳田 1942b: 10]

9. 脚注は、一つ一つ別紙に記し、通し番号を付ける。なお、本文中に脚注をそう入する箇所には、脚注の当該番号を記入し、別紙の脚注には、本文のページ数を明記するものとする。
10. 本文及び脚注において参照した文献は、すべて原稿の末尾にまとめて下記の方法により記入する。
 - (1) 文献の配列は、著者名のアルファベット順とすること。
 - (2) 文献の記載は、著者名、年号、論題（タイトル）、誌名、巻、号、出版社名の順とすること。欧文の雑誌名及び単行本名は、イタリック体にするため、原稿には下線を引くこと。また、ローマ字人名は、スモール・キャピタルとするため、二重下線を引き、日本文の場合は、論題にカギ括弧、雑誌名及び単行本名に二重のカギ括弧を付けること。雑誌の巻数及び号数は、原則としてアラビア数字を用いること。

(例)

論文の場合 (1)

石田英一郎

1948 「文化史的民族学成立の基本問題」『民族学研究』 13(4): 311-330。

Bohannon, P.

1973 Rethinking Culture: A Project for Current Anthropologist. Current Anthropology 14(4): 357-372.

論文の場合 (2)

杉浦 健一

1942 「民間信仰の話」 柳田国男編『日本民俗学研究』 岩波書店, pp. 117-143。

Leach, Edmund

- 1964 Anthropological Aspects of Language: Animal Categories and Verbal Abuse.
In Eric H. Lennenberg (ed.), New Directions in the Study of Language,
The M. I. T. Press, pp. 23-63.

単行本の場合

泉 靖一

- 1966 『文明をもった生物』 日本放送出版協会。

Murdock, George P. (ed.)

- 1960 Social Structure in Southeast Asia. Viking Fund Publications in Anthropology No. 29, Wenner-Gren Foundation for Anthropological Research, Inc.

翻訳書の場合

エリアーデ, M.

- 1974 『シャーマニズム——古代のエクスタシー技術——』 堀 一郎訳 冬樹社。

van Gennep, Arnold

- 1960 The Rites of Passage. M. B. Vizedom and G. L. Caffee, trans., The University of Chicago Press.

国立民族学博物館研究報告 4卷4号

審査委員

梅 棹 忠 夫
中 根 千 枝

祖 父 江 孝 男

編集委員

江 口 一 久
竹 村 卓 二
友 枝 啓 泰
藤 井 龍 彦

加 藤 九 祚 (編集委員長)

垂 水 稔
中 村 俊 龜 智

昭和55年3月18日印刷
昭和55年3月25日発行 非売品

国立民族学博物館研究報告 4卷4号

編集・発行 国立民族学博物館

〒565 吹田市山田小川41-1
TEL 06 (876) 2151 (代表)

印刷 中西印刷株式会社

〒602 京都市上京区下立売通小川東入
TEL 075 (441) 3155 (代表)

Bulletin of the National Museum of Ethnology
vol.4 no.4
December 1979

FUKUI, Katsuyoshi

Colour Concepts and the Classification
of Colors among the Bodi Pastoralists
of Southwest Ethiopia

KURODA, Etsuko

The Transformations in the Ritual Pro-
cess of Holy Week: an Encounter with
Folk Imagination in Mesoamerica

MORIYA, Takeshi
NOMURA, Masaichi

The Formation of the *Iyemoto* System
Civilization as a Specifically European
Concept (1)

DAIMARU, Hiroshi

La metamorphose du Kimono et la signi-
fication du style d'aujourd'hui

NAKAMURA, Takao
RUDDLE, Kenneth

Notes on *Magemono*-work in Japan
The Crisis in Dryland Pastoral Econom-
ies: An Essay in Applied Human Ecology



National Museum
of Ethnology

Senri Expo Park, Suita, Osaka, Japan
phone 06-876-2151

ISSN 0385-180X